

平成28年3月25日（金）

津島市市長公室企画政策課（安井、横井）

電話番号0567-24-1111(内線2330、2333)

## <事業名>津島“にぎわい”創出プロジェクト

補正予算額 45,360千円

### 1 事業概要

#### (1) 目的

本プロジェクトは、国の地方創生加速化交付金を財源に、まちの魅力の掘り起し、磨き上げを行い、それらを地域住民等が津島OSHIとなって効果的に情報発信することにより、まちのイメージアップを図り、まちに誇り持つ住民が増加するとともに交流人口の増加がもたらされ、まちににぎわいが創出し、人口流出に歯止めをかけ、移住・定住人口の増加に寄与することを期待して実施するものです。

プロジェクトは以下の7事業から成り、各事業が相互に連携し、有機的に機能させながらプロジェクトを推進していきます。本プロジェクト全体の統括は企画政策課が行い、各事業実施にあたっては、シティプロモーション課、産業振興課と企画政策課など関係各課が連携・協力しながら進めていく予定です。

#### (2) 内容

##### ①「津島OSHI」情報発信事業

まちの魅力を情報発信する「津島OSHI」を地域住民等から募集して登録し、「情報交流システム」使ってまちの魅力を情報発信します。

※津島OSHIとは、かつての津島御師おしになぞらえ、津島の魅力を発信し、本市を訪れる方へのおもてなしの活動、本市の認知度及びイメージの向上などの活動をしていただく市民親善大使のこと。津島御師とは、かつて津島神社の信仰を広めるため、各地へ出向いてお札を配ったり、祈禱をしたりするとともに、各地から津島神社へみえる人々に自宅を宿泊場所として提供し、参拝を案内するような役割を担っていた。

##### ②「(仮)まちの駅」案内・おもてなし事業

地元店舗・寺社等から「(仮)まちの駅」を募集して登録し、「(仮)まちの駅」が来訪者に道・まちの魅力等の案内・おもてなしをします。平成28年度は実験期間として効果検証を行い、検証結果を踏まえて、平成29年度に「まちの駅」として本登録します。

##### ③「情報交流システム」構築事業

統一のシステムを使って「津島OSHI」がまちの魅力を発信し、魅力を感じて

まち訪れた来訪者を「津島おもてなしコンシェルジュ」が案内・おもてなしをして交流を図ることが出来るように統合型「情報交流システム」を構築します。

④「小路巡りマップ」、「案内板配置計画・デザイン」作成事業

地域住民や地域の団体の皆様と一緒にワークショップを行い、まちの魅力ある地域資源を巡る「小路巡りマップ」を作成します。また、まちなかの魅力（地域資源）を紹介する「案内板配置計画・デザイン」を作成します。10月、11月には、まち歩きモニターツアーを開催し、その結果を「小路巡りマップ」及び「案内板配置計画・デザイン」に反映します。

⑤「短編小説コンテスト」開催事業

津島を題材とした短編小説コンテストを開催します。受賞作品を冊子にして広く配布し、津島の魅力を発信します。

⑥「津島おもてなしコンシェルジュ」人材育成事業

平成27年度に引続き「おもてなし」の基礎を学ぶことのできる講座を年3回開催し、「津島おもてなしコンシェルジュ」を育成します。10月、11月のモニターツアーでは、「津島おもてなしコンシェルジュ」がまちの魅力の案内・おもてなしを行う予定です。

⑦「Rediscovery Tsushima写真コンテスト(春の部)」開催事業

平成27年度に開催した夏、秋、冬の部に引続き、津島の魅力を再発見できる写真コンテストの春の部を開催します。さらに、受賞作品で作成したポスターを全国に配布し、津島の魅力を発信します。

## 2 予算内訳

津島“にぎわい”創出プロジェクト委託料 45,360千円

## 3 参考事項

事業費の財源として国の「地方創生加速化交付金」を活用します。  
国交付金の補助率は10分の10。